

看護小規模多機能居宅介護ひなたぼっこ水道町 第5回 運営推進会議議事録

日時	令和 8年 1月 27日
場所	ひなたぼっこ水道町1階相談室
出席者	<p>事業者 4名</p> <p>包括職員 1名 住民代表(民生委員) 1名</p> <p>利用者 0名 市職員 0名</p> <p>利用者家族 0名 その他() 0名</p>
内容	●令和7年11月下旬～8年1月中旬までの看護小規模多機能ひなたぼっこ水道町の運営について□
意見・要望	<p>○(グループホーム):転倒して救急搬送された利用者がいた。診断の結果、大腿骨頸部骨折だった。リハビリ病院には行かず、1ヶ月以内には施設に帰ってくる見込み。</p> <p>○(安西番町地域包括):転倒した時、利用者は福祉用具を使っていたのか。施設に帰ってきたら、どうやって見守って行くのか。きっと立ちたがると思う。見守りが大変になると思うが。車椅子の利用者は何人ぐらいいるのか。</p> <p>○(グループホーム):骨折した利用者は福祉用具を使っていた。退院後の疼痛管理は服薬で何とかなるが、終始見守りが必要になるだろう。車椅子の利用者は7割位か。災害の時は車椅子を平行移動で下ろすか、マットレスで下ろすかしかない。</p> <p>○(安西番町地域包括):看護小規模多機能は比較的ADLが高い。認知症の割合はどれくらいか。今ボランティアで来てくれる人はいるか。</p> <p>I :ほぼ全員認知症がある。知的障害者も2名いる。食事の準備をしてくれるボランティアがいる。ICTの活用はまだ難しい。会社としては外国人の受け入れに力を入れている。ただ、外国人が夜勤に入ると緊急時の対応に不安がある、地域との連携も必要か。</p> <p>○(安西番町地域包括):地域の人と施設職員が無理のない程度に関わると、突発的なことがあった時に対応できる。看護小規模多機能サービス自体が周知されていないので改善が必要か。</p> <p>○(民生委員):介護サービスは高齢者やその介護者には理解されているが、若い人には知られていない。</p>
今後の課題	●どうすれば地域の人たちに「看護小規模多機能」のサービスを知ってもらえるか。
次回の予定	●令和7年度第5回運営推進会議を令和8年3/17に開催予定。

スタッフ閲覧サイン